

アス合材オーダーをクラウド化

工場省人化と顧客サービス向上

大成ロテック
とKDDI

大成ロテックとKDDIは、アスファルト合材のオーダーシステムをクラウド化し、顧客のニーズに合わせて機能追加が可能な、プラットフォーム型オーダーシステム「アスプラネットシステム」を共同開発した。従来の受発注業務をオンラインで対応可能とするこ

とにより、合材工場の省人化および工場・顧客双方の利便性向上につなげ、道路舗装業界のデジタルトランスフォーメーション（DX）を加速していく。

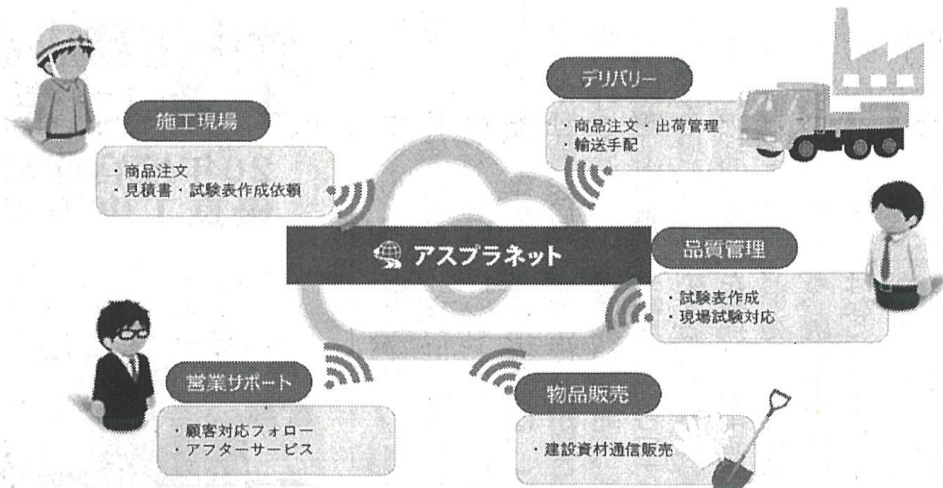
路舗装資材を製造・販売する合材工場における省人化は、業界共通の課題となっている。また、夜間・休日に実施されることも多い舗装工事では、夜間や休日の受発注に対応する必要もあり、従来は電話やFAXなどで対応をしていたため、受発注双方の作業負荷も大き

な課題となっていた。このような課題に対して、両社は、ICTの導入によるアスファルト合材を発注する側の顧客と、受注する側の合材工場双方の省人化・利便性向上を目的に、「アスプラネットシステム」の構想を検討。開発のフェーズ1として、19年4月か

らアスファルト合材の受発注システムをクラウド上に構築し、国内工場の7拠点を接続。業務の見える化による社内連携強化を図り、業務効率化につなげた。また、発注する側の顧客との接点をスマートフォンデバイスでも可能とすることで、合材工場と顧客双方の利便性向上の基盤を構築した。

に係る依頼を、顧客のパソコンやモバイル端末から簡単に行うことが可能となった。

これにより、大成ロテックと顧客双方のさらなるコミュニケーションの円滑化を図るとともに、顧客の利便性向上を目指す。また、追加機能を含め今年度中に顧客へ展開を予定している。



「アスプラネットシステム」イメージ図